

2020年度第2回北栄町歴史民俗資料館運営委員会 議事録

日時	2020年11月27日(金) 午後1時00分～午後1時55分
場所	北条健康福祉センター 多目的研修室
出席者	横濱純一委員、南場兄一委員、日置条左エ門委員、中前雄一郎委員、遠藤晃子委員、幸田茂委員、濱本武代委員 (事務局) 教育長 別本勝美、生涯学習課長 杉本裕史、同課参事 牧本哲雄、同課文化・スポーツ推進室長 前田美友紀、同課同室主幹 遠藤一志、同課同室学芸員 磯江哲昭
<p>【日程】</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 2020年度実施事業について</p> <p>ア 北栄みらい伝承館展示事業について</p> <p>イ 開館30周年記念児童生徒絵画コンクールの実施について</p> <p>(2) その他</p> <p>ア 新型コロナウイルス対応について</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 2021年度事業計画について(素案)</p> <p>(2) その他</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p> <p>【結果・意見】</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 2020年度実施事業について</p> <p>ア 北栄みらい伝承館展示事業について (事務局)</p> <p>2020年度は、6本の展示、常設展を実施、入館者数は11月17日現在1,791人、特記事項として、生田和孝展では鳥取県と共催となり、精密撮影、ウェブ図録作成等一段高度な展示となった。 (委員)</p> <p>子どもにもっと来て貰うよう、工夫をすべき 生活道具の企画展でも学校の来訪を待っていないで、積極的にPRして郷土愛を育むようにしてほしい。</p> <p>イ 開館30周年記念児童生徒絵画コンクールについて (事務局)</p>	

町内小中学生を対象に実施、応募総数 239 点、展示数量 163 点
応募内容に応じて賞を設定し、11/3 美術展と合わせて表彰した。

(委員)

審査はどうであったか、来年度も実施するのか

(事務局)

審査は小中学校の図工・美術の先生にお願いした

来年度実施は未定

(委員)

審査は、もう少し正当な審査をしてほしい。最優秀賞の作品は明らかに遠近法にうるいがあると感じた

(事務局)

いろいろご意見はあると思うが、総合的に考えて決定したので、了承
いただきたい。

(委員)

学校からは町が賞にこだわりすぎ、選定に苦慮したと聞いている。
無理に差をつけさせる必要はなく、子どもの頑張りを展示する場を提供
するだけでいいのではないか。

(2) その他

ア 新型コロナウイルス対応について

(事務局)

ガイドラインに拠り、検温・緊急連絡先等所要の措置を講じている。

(委員)

意見特になし

(委員長)

新型コロナウイルス関連のものを収集している館がある。新しいもの
も過去になっていくので、新しいものを収集する必要があるのかもしれ
ない。

4 協議事項

(1) 2021年度事業計画について(素案)

(事務局)

素案とは、予算提案の前であることを示している。

企画展 郷土の作家たち 『山本奈美枝・絋展』

着物・反物・タペストリーなど約 30 点を展示

企画展 北栄町の歴史 『大昔のすまいのかたち』

住居跡のパネル展示と出土遺跡を紹介

企画展 北栄町の自然 『夏休み昆虫展』 昆虫標本を展示

特別企画展 郷土の偉人 『齋尾慶勝・戦艦大和の砲台を造った男』

齋尾慶勝の資料展示

県立博物館巡回展 『赤羽刀』

伯耆にゆかりある約 15 本の刀を展示

企画展 明治・大正・昭和の生活道具 『米作りに使用した道具』
米作りに使用した道具の変遷を展示

なお、赤羽刀展が実施できない場合、鳥取県立博物館所蔵のお札^{ふだ}による展示に変えることがある。

(委員)

みらい伝承館、みらいへ伝承する館ということを考えると、来年度の企画展は戦艦大和の大砲、刀など内容が過去に向いており、館のイメージに合わないように思うが。

(事務局) 中国山地は鉄にかかる文化、歴史が特徴的、中部においても重要なものとなっている。特に幕末の近代化には六尾反射炉、由良台場に代表される先進性がある。これらに着目した展示を心がける。

(委員)

『赤羽刀』展は斬るための刀剣のみならず、地域に伝わる用具としての鉄の文化まで紹介できれば、いい企画となると思う。

(2) その他
なし

5 その他

(事務局)

北栄町文化財保存活用地域計画の関係で、1月にパブリックコメントを予定にしていることを説明

6 閉会